

安全データシート(SDS)

1、化学物質等及び会社情報

製品名 : 万能マシンオイル
製品コード : BM-1KV,4KV
会社名 : 大澤ワックス株式会社
住所 : 〒451-0045 名古屋市西区名駅2丁目27番8号 名古屋プライムセントラルタワー8階
電話番号 : 052-414-4010
FAX番号 : 052-414-4018
E-MAIL : info@boll.co.jp
緊急連絡電話番号 : 052-414-4010
改訂日 : 2022年2月1日

2、危険有害性の要約

GHS分類

吸引性呼吸器有害性: 区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

安全対策: データなし

応急処置: 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管: 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。

一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。

施錠して保管すること。

廃棄: 内容物及び容器は、各自治体の規則に従って廃棄すること。

3、組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分: 混合物

成分及び含有量(wt%):

化学名	化管法 官報公示番号	CAS No.	含有量(質量%)
石油系炭化水素(鉱油)	-	64742-54-7	70%
石油系炭化水素(鉱油)	-	64742-55-8	30%

4、応急措置

眼に入った場合: 清浄な水で最低20分間眼を洗浄した後、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合: 水と石鹸で付着した部分を洗う。

新鮮な空気のある場所に移す。

呼吸をしていない場合は、人工呼吸を行う。

直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合: 体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、必要であれば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合: 無理に吐かせないで、速やかに医師の手当てを受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状: データなし

最も重要な兆候及び症状: データなし

応急措置をする者の保護: データなし

医師に対する特別注意事項: データなし

5、火災時の措置

適切な消火剤: 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、霧状水

使ってはならない消火剤: 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

特有の危険有害性: 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

激しく加熱すると燃焼する。

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

容器が熱に晒されているときは、移さない。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護:適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6、漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具および緊急措置:直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
漏れたオイルの上はとても滑りやすいので歩かないようにする。
適切な保護服を着用する。
十分な換気を取り、全ての発火源を取り除く。

環境に対する注意事項:環境中に放出してはならない。

回収・中和:不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

二次災害の防止策:すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7、取扱い及び保管上の注意

取扱い:この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は、保護具を着用する。

取り扱い後は石けんでよく手を洗うこと。

よく換気し、蒸気を吸入することを避けること。

ミストが発生する場合、呼吸器具等を使用してミストを吸入しないこと。

保管:直射日光を避け、冷暗所での換気のよい場所に保管する。

危険物の表示をして保管する。

熱・スパーク・火災並びに静電気蓄積を避ける。

保管場所で使用する電気器具は、防爆構造とし、器具類は接地する。

ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

空容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂することがある。

容器は、溶接・加熱・穴あけ又は切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。

8、暴露防止及び保護措置

管理濃度:未設定

許容濃度

(暴露限界値、生物学的暴露指標):日本産衛学会(2007年場版) 未設定
ACGIH(2007年版) 未設定

設備対策:ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。

取扱い場所の近くに眼の洗浄及び身体洗浄の為の設備を設置する。

呼吸器用の保護具:状況に応じて呼吸用保護具等を使用する。

手の保護具:状況に応じて耐油性保護手袋等を使用する。

眼の保護具:状況に応じて保護眼鏡等を使用する。

皮膚及び身体の保護具:状況に応じて保護衣等を使用する。

適切な衛生対策:取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9、物理的及び化学的性質

形状:粘度のある液体

色:透明

臭い:独特なミネラルオイルの臭い

沸点:データなし

凝固点:データなし

分解温度:データなし

引火点(COC):223℃以上

発火点:データなし

爆発限界:データなし

蒸気密度:データなし

密度(15℃):約861kg/m³

溶解性:水に対して不溶

オクタノール/水分配係数:データなし

動粘度(40℃):41.4-50.6 mm²/s

10、安定性及び反応性

安定性: 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。

反応性: 現在のところ有用な情報なし

避けるべき条件: 引火点を超える熱、火花、火気、静電気

避けるべき材料: 強酸化剤との接触を避ける。

危険有害な分解生成物: データなし

11、有害性情報

急性毒性: データなし

皮膚腐食性・刺激性: 分類されない

眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 分類されない

呼吸器・皮膚感作性: 分類されない

発がん性: 分類されない

生殖細胞変異原性: 分類されない

生殖毒性: 分類されない

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): データなし

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): データなし

吸引性呼吸器有害性: 40℃の動粘性率が $13.64\text{mm}^2/\text{s}$ 以下の炭化水素であることから区分1とした。

12、環境影響情報

データなし

13、廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14、輸送上の注意

国際規制

海上規制情報: 該当しない

航空規制情報: 該当しない

UN No.: 該当しない

国内規制

陸上規制情報: 消防法の規制に従う。

海上規制情報: 該当しない

航空規制情報: 該当しない

特別安全対策: 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

15、適用法令

国内法令

労働安全衛生法: 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)

名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)

消防法: 危険物、第4類、第4石油類 危険等級Ⅲ

16、その他の情報

記載内容の取り扱い: ここに記載された情報は現時点で正確な物と考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全な物ではなく、新知見によって変わることがあります。
また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意して下さい。